

「首になった」「住むところがない」

411-5131

日本共産党福岡県委員会

# すぐにご相談ください

大企業による大量解雇が深刻となるなか、日本共産党は「非正規切り」の中止を求めると同時に、失業した労働者の相談に応じ、救済に奮闘しています。福岡市議団の議員も「いのちとくらしの相談会」（3月1日、警固公園、実行委員会主催）などに参加。生活費もない方の生活保護申請や、寮を追い出された方の住居探しなど次々寄せられる相談をお聞きし、行政にも働きかけてその解決に尽力しています。

## 日本共産党福岡市議団



## 市が対応を改善 ～住居がなくても生活保護適用

福岡市はこれまで、ホームレスなど住居がない人の生活保護申請を拒否してきましたが、「生活と健康を守る会」や日本共産党市議団が改善を繰り返し要求してきた結果、申請を受理し、生活保護の適用をすすめるよう改善されました。厚生労働省の方針を無視してきた

福岡市のやり方がついに改められました。

市は1月、日本共産党市議団の説明要求に応じて、深刻な経済状況をうけて、住居がない人でも保護申請を受け、住居確保を促進する方針だと回答していました。

## 集団申請に80人。ほとんどが住居決まる

3月1日の「いのちとくらしの相談会」で相談のあった人など約80人が、翌日から博多区役所保護三課で行われた生活保護の集団申請

に訪れました。失業による寮追い出しや家賃滞納による借家追い出しにあい、公園や路上で寝泊まりしている方がほとんどでしたが、保護費が支給される見込みです。

また住居も、市によるあっせんと同時に、議員も不動産業者を紹介して次々決まりました。

### 雇用促進住宅に入居でき、生活資金貸付も受けられた

「派遣切りにあった」と党東博多地区委員会に相談のあった54歳の男性2人は、ハローワークを通じて雇用促進住宅に入居できたものの、生活保護が受けられませんでした。中山いくみ議員がいっしょに区役所へ出向いて申請。さらに社会福祉協議会で貸付を申し込み、即日受けることができました。「助かりました」と喜ばれています。



## 相談窓口も人員補充

その後、市民から「役所に相談に行ったら2週間も待ってくれと言われた」という声を聞き、すぐに保健福祉局長に担当課の人員補充を申し入れました。市は職員を3人増やして相談に対応するようになりました。